



一宮歩こう会 青春の東海道歩き

かわら版 18号

1月15日、第11ステージは本隊が名鉄御油駅からJR二川駅まで。観光隊はJR豊橋駅からJR二川駅まで。観光隊の目玉は愛知県唯一の路面電車の走る街 豊橋で最新型の路面電車、LRV（愛称「ほつ ترام」）に乗る事であった。1輛しかないののでわざわざそれが走る時間に合わせて予定を組んでいったのに「昨夜故障しまして今日は代車です」と。残念というか「路面電車のある町」と市が謳っているのに当事者の気合が入っていない事にあきれられる。

前号に引き続いて東海道に関係のない鉄道の話で恐縮であるが「青春の東海道歩き」参加者は歩く社会にも関心があるかと思うのでお許しを頂きたい。

日本の路面電車の発祥の地、京都市電が1978年全線廃止になって以来全国的に路面電車の廃止が続いた。身近なところでは岐阜の路面電車が2005（平成17）に廃止になった。理由は交通渋滞と利用者減による赤字である。

ヨーロッパでは、戦後の＜車社会＞の到来に伴って、各地で路面電車が廃止されて行きましたが、21世紀を迎える前後から、石油ショック以来収まらない原油高と、都市機能を麻痺させる＜交通渋滞＞との理由により、路面電車の復権著しい。

豊橋市の路面電車の見どころ

①平成9年、駅前大通りにあった停留所から駅前の新設されたペデストリアンデッキ下まで路線延長をして乗換に便利になりました。この工事に補助金が国から出ているのですが、いままで地下鉄や新交通システムにしかなかった補助制度が路面電車にも出るようになった第1号が豊橋市だったのです。

②ヨーロッパでは弱者にやさしい新型車両LRTを導入している。豊橋市では全国的に見て早いほうではないが平成20年に「ほつ ترام」と愛称されるLRTを導入している。



全面低床電車 (LRV) T1000形
狭軌軌道事業者において、純国産では初となる全面低床電車

③路面電車を「チンチン電車」としてノスタルジアから見るのではなく、自動車依存型の地域社会を見直すために、LRTと国道一号線を走る豊橋市の路面電車を体験していただきたかった。

閑話休題

ゴールで大変立派な二川宿を見たがここも豊橋市ということにビックリ。吉田城でガイドさんからお聞きした池田輝政の所領が今も生きているということか。

